

令和元年度 学校自己評価書

小美玉市立納場小学校 校長 八木 健

1 今年度の取組みの概要

かがやく納場っ子の育成：かがやく瞳 がんばりぬく姿 やさしい心 くふうするかしこい頭
(体) (徳) (知)

- 「がんばりぬく姿」の育成
 - ・運動量を確保した体育授業の充実 ・体力づくり運動の推進 ・規則正しい生活習慣づくり
 - ・健康教育, 安全教育の充実
- 「やさしい心」の育成
 - ・学級経営の充実 (いじめ重大事態0) ・道徳教育の推進 ・自主性を育てる特別活動の推進
 - ・読書活動の充実 (50冊読破) ・体験活動の充実
- 「くふうするかしこい頭」の育成
 - ・基礎・基本の定着 ・学ぶ意欲と学習態度の育成 ・学習の習慣づくり
- 魅力あふれる学校づくり
 - ・開かれた学校づくりの推進 ・地域人材を生かした教育活動の充実 ・保幼小の連携
- たゆまず励む教員づくり
 - ・研修の充実 ・インクルーシブ教育の推進

<達成度 A:十分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る>

◎ 組織目標1についての具体的な取組み

組織目標1	児童自らが、体力向上をめざし活動する場の設定を工夫する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○運動量を確保した体育授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ランニングの実施 ・業間運動の工夫 (持久走, なわとび) ・体力差, 技能差に応じて選択できる授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストA+B 70.4% ・「進んで体力づくりをするよう指導している」93.4% (自己評価) ・「運動をすることが好きですか。」91.3% (児童アンケート) 	A
○安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な避難訓練の実施と工夫改善 ・登校班集会の実施 (学期2回) ・朝の立哨と下校時の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が危険予測をする力を高める指導の工夫 ・「安全に登下校できているか。」98% (保護者アンケート) 	B
○健康教育の充実と生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の活用 ・養護教諭による保健指導 ・早寝早起き朝ご飯の奨励 ・栄養教諭による食育指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室 (6年) ・性教育講演会 (5年) ・食べ物教室 (全学年) ・朝食摂取率 98.5% (児童) 	A

◎ 組織目標2についての具体的な取組み

組織目標2	児童同士が進んで助け合い励まし合える場の設定を工夫する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の公開 ・外部講師による道徳研修会の実施 ・人権集会の開催 ・異学年交流, ペア学年交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級道徳の授業の公開 ・役割演技や議論する授業の実施 66.7% (自己評価) ・「優しい言葉かけができています。」93.1% (児) 84.3% (保) ・「ルールを守った生活」96.5% (児), 88.5% (保) 	B
○学級経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを生まない学級経営 ・生活アンケート (毎月) ・Q-Uテストの活用 (年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は楽しい」94.2% (児) ・生活アンケートにより小さなトラブルにすぐに対応した。 ・継続して指導が必要ないじめ案件は「0」である。 	A
○体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験 (田植え, 稲刈り, 脱穀) ・老人福祉施設等との交流 ・保幼小交流 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験の工夫改善 ・4・5年生の施設訪問, 6年生のお弁当包み紙作成 ・幼小交流 10回 ・50冊読破 79.2% (4~6年合計) 	A

◎ 組織目標 3 についての具体的な取組み			
組織目標 3	児童が主体的に学び合える場の設定を工夫する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉でまとめる振り返り時間の設定 「学び合い」による交流の充実 学習形態の工夫 I C T の効果的活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における「学び合いの場」の設定 85.7% (自己評価) 「自分の意見や考えを進んで発したか。」 77.5% (児童) 基礎・基本の確実な定着が必要である。 	B
○分かりやすい授業への改善	<ul style="list-style-type: none"> 模擬授業→研究授業→研究協議会の実施 講師を招いての校内研修の実施 I C T を活用しての提案授業 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業は、分かりやすい。」 98.1% (児), 81.9% (保) 「学校は、児童が学び合えるような授業を行っている。」 89.3% (児童) 84.3% (保護者) 93.3% (自己評価) 	A
○学習の習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習強化月間の実施 親子宿題プリントの実施 家庭学習カードを活用しての家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 「宿題や家庭学習をする習慣が身についている。」 85.1% (児童) 83.9% (保護者) 親子宿題プリント (年 3 回) 	A

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

(成果)

- ・朝読書により落ち着いた雰囲気朝の会、1時間目がスタートできている。
- ・読書活動の充実に向けて、学校図書への補充、図書委員と高学年による読み聞かせの実施、読書意欲を喚起する掲示物の作成などに取り組み、児童の読書意欲の高揚に努めてきた。
- ・多くの児童が、「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業で目標としている50冊を読破することができた。
- ・授業の中で自分の考えを交流する「学び合い」が定着してきており、自分の考えをもって話し合いができていると感じている児童が多くなった。
- ・体力テストA+Bの人数の割合は県の平均を大きく上回り、70.4%であった。長座体前屈とボール投げは、僅かに県平均値を下回った。
- ・登校後すぐにランニングや縄跳びなどに取り組む児童が増えてきた。
- ・I C T サポーターと連携を図り、タブレットやコンピューターを活用した授業が展開され、児童が意欲的に学習に取り組めた。

(課題)

- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指し、児童が楽しく学び合える授業、興味・関心や定着度に応じた授業づくりやについて研修を深めていく必要がある。
- ・家庭学習の習慣は身につけているが、基礎基本の定着に課題がある。各学年で定着が不十分であった学習事項を職員で共有し、補充していく必要がある。
- ・投力、柔軟性を高める運動を授業の中に位置づけ、バランスのとれた体力向上を図る必要がある。

3 保護者や地域の皆様へ

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。

- ◎ 総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやPTAの方のご尽力により、児童は田植え、稲刈り、脱穀などの貴重な体験させていただき、米づくりの大変さなどを学ぶことができました。「納場っ子 夢未来フェスタ」において「おかき」に加工して美味しくいただき、収穫の喜びを味わうことができました。
- ◎ 登下校のボランティアの皆様には、1年間を通して児童の交通安全のためのご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで大きな事故やけがもなく安全に登下校することができました。
- ◎ 金管バンド部については、「納場コミュニティふれあい祭り」「小美玉市音楽のつどい」「納場っ子 夢 未来フェスタ」等で演奏することができ、部員の大きな励みとなりました。また、保護者や地域の方のご支援により、日頃の練習にも意欲的に取り組むことができました。
- ◎ 納場コミュニティ、子ども会育成会、小美玉市民の会、名友会等のご支援により、児童は地域の様々な行事に参加し、児童の地域への所属感を深めることができました。
- ◎ 「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで授業を始めとして運動会などの学校行事や環境整備、金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。

令和2年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見をもとに、よりよい教育活動ができるように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。